

# 新型コロナウイルス感染症と筋痛性脳脊髄炎の研究を求める請願書

2021年 月 日

衆議院議長殿  
参議院議長殿

紹介議員

印

請願者 氏名

(外 名)

住所 〒

## 一. 請願要旨

筋痛性脳脊髄炎／慢性疲労症候群(ME/CFS)は、世界保健機関 (WHO) の国際疾病分類において神経系疾患 (ICD-11 8E49) と分類されている神経免疫系の難病です。米国では国立衛生研究所 (NIH) の神経系疾患セクション主導で研究が行われており、日本でも日本医療研究開発機構 (AMED) の「ME/CFS に対する診療・研究ネットワークの構築」「ME/CFS の血液診断法の開発」の研究班が、国立精神・神経医療研究センター神経研究所において本格的な研究を進めています。2014 年には厚生労働省の実態調査が実施され、約 3 割の患者が寝たきりに近く、ほとんどの患者が職を失うという深刻な実態が明らかになっています。

ME/CFS の集団発生は歴史的にウイルス疾患の流行後に起きており、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が ME/CFS の引き金になり患者が多発する可能性があるとして、昨年より多くの専門家は警告してきました。米国国立アレルギー・感染症研究所のファウチ所長が、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 後に長引く症状は筋痛性脳脊髄炎の症状に似ていると発言したことが、昨年 7 月に CNN ニュースで取り上げられました。英国国立衛生研究所は、COVID-19 の後遺症には 4 つのパターンがあり、その一つがウイルス感染後疲労症候群 (ME/CFS を含む) であるとする研究報告を同 10 月に発表しました。COVID-19 と ME/CFS の関連は、海外では Nature、TIME、BBC News、The Japan Times、The Washington Post、The New York Times 等の多くのメディアで取り上げられています。

NPO 法人筋痛性脳脊髄炎の会では昨年、COVID-19 の後遺症のアンケート調査を実施し、ME/CFS の専門医の診察と検査を経て、日本においても COVID-19 後に ME/CFS を発症した方を確認しました。第 203 回臨時国会に COVID-19 と ME/CFS の研究に関する質問主意書が提出され、政府は「学術論文等において、ウイルスに感染等した後に ME/CFS を発症したとする事例の報告があることは承知している」「COVID-19 から回復した者の症状について実態把握に関する調査研究を行っているところであり、『ME/CFS 発症の可能性を調べる実態調査』の実施及び『COVID-19 と ME/CFS に焦点を当てた研究を行う体制』の構築については、当該調査研究を含む国内外の研究の結果等を踏まえ、検討してまいりたい」とする答弁書を閣議決定しています。

過去の ME/CFS の集団発生の研究による科学的エビデンスを基に推定すると、COVID-19 の全感染者の 10～12% が ME/CFS を発症すると予測されます。米国では NIH、スタンフォード大学、コロンビア大学等で COVID-19 と ME/CFS に焦点を絞った研究が行われており、日本でも一日も早く実際に研究が開始されることを切に願い、次の事項を請願いたします。

## 二. 請願事項

1. COVID-19 後に ME/CFS を発症する可能性を調べる実態調査、並びに COVID-19 と ME/CFS に焦点を絞った研究を、神経免疫の専門家を中心に早急に開始する体制を整えて下さい。

以上